

大津市教科等領域別研究会 視聴覚教育部会

I 研究主題

「教育メディアが拓く、確かな学びと生きる力」

II 研究経過

集会月日	研究事項	集会種別	会場
7.22	夏季公開研修講座	全体会	コラボしが21
9.30	今年度の計画及び活動概要について	全体会	瀬田南小学校
1.8	授業研究会事前検討会	全体会	瀬田南小学校
1.29	授業研究会・研究協議会研究協議会 今年度の総括	授業公開	瀬田南小学校

III 研究内容とまとめ

9月30日の全体会で、昨年度までの活動を踏まえ、今年度の視聴覚教育部会の持ち方について協議した。市の情報教育部会とのすみ分けに執着することを控え、今までの県の視聴覚研究部会とのつながりも大切にしながら研究を進めていくこととした。

7月22日「夏季公開研修講座」では、県視聴覚部会・情報統計部会との共催として、まず、滋賀県 Canvassador 笹原 弘樹氏により、「はじめてのCanva!」と題して、教師の仕事をよりよく変える方法を学ぶ機会となった。配布物や掲示物、さまざまな学級ツールが簡単につくることができたり、授業での子どものアウトプットにも使えたりすることがわかり、今後の活用に期待できることがわかった。また、滋賀県放送教育研究協議会 岡田 直也氏、岸本 翼氏による、NHK for Schoolの動画コンテンツを活用した授業づくりや動画コンテンツを活用した指導案づくりの実習ができた。

Canvaがデザイン作成ツールということもあり、関心が高く大津市からの参加者が多かった。また、参加者からは、本市でもタブレット端末にCanvaの導入ができないかとの意見が見られた。

1月29日には、研究主題にせまる「タブレット端末の効果的な活用」をねらいとした授業研究会を開催した。瀬田南小学校 疋田 淳 教諭による「2年 生活科『あしたへジャンプ』」の授業では、学習支援ソフト「MetaMoJi Classroom」を活用し、成長した自分の姿をプレゼン資料としてまとめる取組を実践した。低学年児童のソフト活用の技能は指導することで習熟することがわかり、ICT機器（タブレット端末）の技能スキルを系統立てて指導することの重要性を感じた。授業には大津市教育委員会事務局から指導主事が参観に来られ、講評していただいた。

V 次年度への申し送り事項

参集して本部会の方向性を協議し、授業研究会を通して、研究主題と子どもの学びとのつながりを研究できたことは成果としてあげられる。しかしながら、部会員の少なさ、校種間（小中）における部会員の交流が十分に行えない状況を踏まえると、次年度には、部会員の交流が活発となるよう、連携を深める方策を考える必要がある。その課題解決の方策として、県の視聴覚教育部会との連携を含め、市の情報教育部会との共同部会として位置づけることが望ましい。